

相川地区

山角氏の墓（酒井法雲寺） MAP D-5 ⑦

山角氏の祖先是、代々小田原北条氏の軍奉行などを勤めた重臣でしたが、北条氏滅亡後、子孫は江戸幕府の旗本となり酒井村を中心に治めていました。当寺は山角勝長の開基と伝えられており、宝篋印塔の一群が山角氏の墓です。小田原城下には山角町の町名がありました。



銅鐘（酒井販出神社） MAP D-5 ⑤

製作年代は不明ですが、その形が近世のものより長形で古鐘のおもかげを残していることから、慶長末年以前のものとして第二次大戦の時の供出を免れました。しかし、形態・文様が市内にある近世初期の作例と類似するところもあり、中世が近世のものかははっきりしません。（市指定有形文化財）



木造菩薩立像二軀（戸田延命寺） MAP E-5 ①

両像とも、優しい顔立ちや全体のしなやかな輪郭など、一般に藤原様と呼ばれる平安時代後期の特徴をよく示しています。明確な尊名は不詳ですが、平安期に溯る一対の脇侍として県下でも貴重な作例です。（市指定有形文化財）



木造阿彌陀如来立像（上落合長徳寺） MAP E-4 ④

本像は浄土真宗型阿彌陀如来像の典型であり、寄木造りで玉眼を嵌入、肉身部を金泥、着衣部を漆箔としています。胎内銘によって天文4年（1535）に後北条氏の家人藤田氏らによって造立されたことがわかります。像高63.0cm（市指定有形文化財）



厚木地区

絹本着色徳川家康像（東照宮御画像）（個人蔵） MAP C-5 ⑮

本資料は、厚木の宿の徳川家康にゆかりの深い旧家に伝わる徳川家康像です。図様は、御簾、三つ葉葵及び渦巻の入った亀甲花菱文様で装飾された幕の下に、東常姿の家康が畳に座しており、神格化された徳川家康の姿を描いた東照大権現像の様式にのっとったものです。（市指定有形文化財）



鳥山藩厚木役所跡（厚木町） MAP C-5 ⑫

下野国（現栃木県）鳥山藩主大久保常春は、享保13年（1728）頃、相模国内に点在する領地を治めるため厚木村に陣屋を置きました。現在の厚木神社北側の所で、通称「厚木役所」と呼ばれ、役人たちが年貢の取立てや幕府から出された知らせを触れ回る仕事をしていました。（市指定史跡）



黒田黙耳の墓（幸町安宝寺） MAP D-5 ⑩

黒田黙耳は、明治12年（1879）愛甲郡役所の首席書記として厚木町に赴任してきました。自由民権運動の高まりの中で、明治15年（1882）厚木で結成された結社「相愛社」の会長に推され、民権運動の指導者として活躍しました。明治21年（1888）没。墓碑は昭和2年（1927）に建立されました。



イチョウ（旭町熊野神社） MAP D-5 ⑧

このイチョウは、幹には乳状下垂（幹や太い枝の表皮の一部が垂れ下がったもの）が多数見られ、古さを示しています。この付近は、古くから「熊野の森」と言われ、天保2年（1831）9月に厚木を訪れた渡辺華山筆の「厚木六勝」図の1つ「熊林曉鴉」図として描かれています。（市指定天然記念物）



南毛利地区

天神山古墳（戸室） MAP C-4 ⑮

この古墳は、高さ5.5m・直径44mの円墳で、周囲に幅5mの周溝がめぐっていることが確認されています。古墳時代中期、5世紀頃に造られたものと考えられています。現在、天神山児童遊園として整備されています。



木造観音菩薩立像（船子観音寺） MAP D-4 ⑫

像の高さは162.5cmを測り、等身大の観音菩薩像で、頭部・軀部は豊かに肉付けされ、奥行きも十分にあります。その姿形には、平安時代後期の作風をうかがうことができますが確定はできません。



石灯籠（愛甲熊野神社） MAP D-4 ⑪

この石灯籠には、南北町時代、康暦2年（1380）2月の銘文が刻まれています。制作年代の明確な中世の石灯籠としては、関東地方でも最古級と認められ貴重なものです。火袋と中古は近年に補われたものです。（市指定有形文化財）



石灯籠（温水春日神社） MAP D-4 ⑲

奈良春日大社の石灯籠と同じ形式の、いわゆる「春日灯籠」といわれるものです。半部分に室町時代の応永24年（1417）という年号が刻まれています。各部よく保存されており、また社前に1基だけ建つという古い形態がそのまま残されています。（市指定有形文化財）



玉川地区

懸仏と石造物群（七沢浅間神社） MAP C-2 ⑤⑤

鐘ヶ嶽山頂の浅間神社には室町時代頃の3つの懸仏が伝わっています。『新編相模国風土記稿』は「延宝八年土中より出る」と記しています。また神社への登山道（参道）には、1丁目から28丁目まで、富士講の人々によって奉納された丁石が建てられています。（写真）。17丁目付近からは瓦が採集され、寺院址の存在がうかがわれます。



七沢城址 MAP C-2 ④⑨

室町時代、上杉憲忠は関東公方足利成氏との争いに敗れ、七沢城を構えました。城といっても大規模な砦のようなものだったと思われます。長享2年（1488）、山内・扇谷両上杉氏による実時原の合戦の舞台となりました。城の中心は、現在の七沢リハビリテーション病院の辺りであったと思われます。



絵馬（七沢観音寺） MAP C-2 ⑤①

観音寺には江戸時代中頃以降に奉納された、多くの絵馬が残されています。これは観音寺の本尊が馬頭観音菩薩であり、当寺が「馬」の安全と供養を兼ねた信仰を集めていたことを示すものと思われます。また、かつては草競馬も行われていました。



小野神社 MAP D-3 ④①

延長5年（927）に完成した『延喜式』に記載されている「愛甲郡一座小 小野神社」に当たるとされています。また天正19年（1591）には「閑香宮」として徳川家康の朱印状が与えられるなど、古くから由緒ある神社でした。現在の拝殿は嘉永元年（1848）に建てられたものです。



依知地区

あつぎ郷土博物館（下川入） MAP B-4 ⑥⑧

「あつぎ」の歴史・文化・自然について深く知っていただくため、展示・講座などを開催している博物館です。基本展示のほか、分野を超えたテーマに基づく展示、特別な資料を展示する企画展示など「あつぎ」を考えるための魅力あふれる空間を演出しています。豊かな自然環境のもとでの学びの場をぜひ体験してください。



妙傳寺の文化財（上依知） MAP A-5 ⑦③～⑦⑧

○二天門 延享3年（1746）建立。
○釈迦堂 18世紀半ば建立。「独尊堂」とも呼ばれる仏堂です（写真）。
○木造釈迦如来立像 元禄10年（1697）頃の作。1丈6尺（534cm）の像で、釈迦堂に安置。
○木造毘沙門天（多聞天）立像・木造持国天立像 元禄10年作の、釈迦如来の脇侍。二天門に安置されています。
○絹本着色弁財天十五童子像 神仏習合の有様を反映する室町時代末から江戸時代前期の作とされる絵画。（上記全て市指定有形文化財）



大山道の道標（山際） MAP B-5 ⑥⑦

山際長福寺の入口にあり、江戸時代の道標としては市内最大のものです。天保9年（1838）に造られ、上部の石像は伊勢原大山寺の本尊不動明王をかたどり、「右 大山道厚木道 左 猿ヶ島村渡船場道」と刻まれています。



小幡景憲（勘兵衛）の墓（中依知蓮生寺） MAP B-5 ⑥⑥

蓮生寺には小幡勘兵衛景憲の木像と墓石が伝えられています。小幡勘兵衛は江戸時代初期の軍学者であり、『甲陽軍鑑』を完成させ、甲州流兵法を体系づけました。中依知・関口・山際3か村を含む相模国に500石の領地がありました。寛文3年（1663）2月25日、92歳で没し、蓮生寺に葬られたといわれています。



依知地区

カシワの木（個人蔵） MAP B-5 ⑥⑩

目通り直径が1.73mあり、主幹は地上2mのところで横に曲げられ、主屋の軒にかぶさるように横一文字に20m以上伸びています。（市指定天然記念物）



吾妻坂古墳（下依知） MAP C-5 ⑥⑨

この古墳は、古墳時代中期の5世紀初め頃に造られた、かなり大規模な円墳と考えられています。複数の主体部からは銅鏡（写真）・鉄刀・鉄剣・鉄鉾・鉄鏃・笠・玉類など、多くの副葬品が出土しました。これらの質の高い豊富な副葬品から、当時最も有力な首長の墳墓とみられます。



銅鐘（中依知浅間神社） MAP B-5 ⑥③

この銅鐘は、銘文によると貞和6年（1350）に飯山に住んでいた清原宗廣という鋳物師によって造られたとあり、昔、激しい日照りの折には、雨ごいの行事として相模川に沈められたといわれます。以前鎌倉にあった大楽寺の鐘を長禄3年（1459）に購入したものです。（県指定重要文化財）



初代坂東彦三郎寄進の題目碑・供養塔（金田妙純寺） MAP C-5 ⑥⑤

妙純寺には江戸時代の人気歌舞伎役者で、現在も続く歌舞伎の名門坂東家の開祖となった、初代坂東彦三郎が寄進した題目碑（享保16年（1731）、南無妙法蓮華経を刻む）や自身の供養塔が伝わっています（写真）。



◆乗合い駕籠（バス）案内◆



◆本厚木駅発車バス（時刻表等詳細は神奈川中央交通厚木営業所へお問い合わせ下さい）(046)241-2626

路線	行先
北口	松通寺、あつぎ郷土博物館、高尾団地、神奈川工科大学經由高尾団地、まつかげ台、急行バイパス經由まつかげ台、上荻野車庫前、半原、荻野運動公園經由宮の里、市立病院經由原田麻駅、市立病院經由猿ヶ島、清雲寺入口、宿原入口、愛川バスセンター、森の里
南口	東京工芸大学、王子、緑ヶ丘經由緑ヶ丘三丁目
厚木バスセンター	市立病院經由宮の里、合同庁舎經由宮の里、上飯山、上煤ヶ谷、宮ヶ瀬
北口	神奈川工科大学經由高尾団地、まつかげ台、上荻野車庫前、半原、急行厚木アクト（始発～午前10時前、平日のみ）、清雲寺入口
南口	松通寺、あつぎ郷土博物館、そりだハイツ前經由宿原入口、三田經由愛川バスセンター、急行神奈川工科大学
北口	東京工芸大学、王子
南口	緑ヶ丘經由緑ヶ丘三丁目
北口	広沢寺温泉、七沢、神奈川リハビリ經由七沢、神奈川リハビリ、船子・中学校經由森の里、赤羽根・高松山經由森の里、船子・森の里青山經由森の里
南口	内陸工業団地、春日台団地、春日台經由愛川バスセンター、上三増、三増經由半原、長坂、猿ヶ島、原田麻駅、市立病院經由原田麻駅、中荻原・ハイテク団地經由上三増、市立病院經由猿ヶ島
北口	毛利台団地、上分、旗谷下
南口	田村車庫、平塚駅北口（旧道・新道）、ツインシティ大神
北口	東京農業大学
南口	厚木アクト

◆愛甲石田駅発車バス

路線	行先
北口	粕屋下宿經由伊勢原駅北口、東海大学病院經由伊勢原駅北口、あかね台循環
南口	毛利台団地、伊勢原駅南口、平塚駅北口
北口	愛甲原住宅經由松通寺、愛甲原住宅經由七沢病院、愛甲原住宅經由森の里
南口	広町橋經由松蔭大学、広町橋・通信研究所前經由森の里、日産先進技術開発センター

表紙：錦絵 観音堂敷記 西国・秩父・坂東札所合計100番の観音霊場を題材として出版された。上部に各札所の境内図を額装で掲げその下に縁起・逸話の絵を配置。
万延元年（1860）12月 2代広重・3代豊国画
壺大判錦絵 あつぎ郷土博物館蔵

